



萩市
HAGI

議会だより

No. 35
2015.1.15

編集
議会だより編集委員会

発行
萩市議会
〒758-8555 萩市江向510
TEL0838-25-3144



文と萩物語

1月4日 NHK大河ドラマ 「花燃ゆ」 放送開始
文と萩物語 花燃ゆ大河ドラマ館 1月11日オープン



久坂玄瑞誕生地
松下村塾では高杉晋作と共に双壁といわれ、文さんと結婚した



楢取素彦旧宅地
松陰先生の2人の妹と結婚した初代群馬県令です



松陰誕生地
松陰先生・文さんをはじめ兄弟が生まれたところでした



玉木文之進旧宅
文さんの名前は叔父の文之進の一字をいただきました



野山獄
松陰先生・楢取素彦が投獄されました

12月
定例会

議長あいさつ	2
一般質問 (17人が登壇しました)	3~8
常任委員会報告	10~11
行政視察報告	12~13

賀 春

本年も、健やかで希望に満ちた初春をお迎えにられましたことと、謹んでお慶び申し上げます。

市民の皆様には、平素より市政に對しまして暖かいご理解と多大なご協力を賜っておりまして、こと、あらためて厚くお礼申し上げます。

昨年4月の市議会議員選挙により私も26人の議員が選出され目下、新たな構成により市民の皆様の負託に応えるべく鋭意議会活動に邁進いたしております。

お陰をもちまして議会として萩市発展の一翼を担うことができ、新年を迎えるにあたり、更なる飛躍に向かい、清新の気がみなぎるのを覚えます。

さて、ご承知のとおり、萩市を取り巻く情勢は、依然厳しい状況にあるといえます。進行する少子高齢化や過疎化対策をはじめ第一次産業における担い手確保の問題、北浦地域の経済振興対策など克服すべき多くの課題に直面し、行政需要はその量・質とも多様化したしております。



萩市議会議長
横山 秀二

議会といたしましても市民の皆様の期待の大きさを痛切に感じるとともに、市民本位の立場から、昨年来、国が打ち出している「地方創生」の施策を視野に入れ、個性豊かで活力ある地域社会の構築を図るため、市内各地域のそれぞれの特性を活かしながら福祉・教育の充実や安心安全なまちづくりなど市民生活に不可欠な課題を総合的に取り組んで参ります。

併せて、今年には市町村合併10周年の節目の年となりますが、私どもといたしましても変革への対応と行動する姿勢を新たにすることが必要だと思っております。

地域経済の発展なしに新たな活力は生まれません。とりわけ、北浦地域の最優先課題として捉えています悲願の山陰自動車道の整備促進と小郡萩道路の延伸整備につきましては、現況、それぞれ一定の前進を見ておりますものの、防災の観点や地域産業の振興を推進するためにも市民の皆様と協働し、引き続き積極的な要望活動に取り組んで参ります。

今年、萩市の観光戦略の目玉は何と申しまし

ても待望のNHK大河ドラマ「花燃ゆ」の効果であります。ご存知のとおり吉田松陰先生の妹・文を主役とした幕末維新の物語が萩を舞台として放映が始まりました。

すでに大河ドラマ館も堂々オープンいたしております。開催期間中には広く県内外から来萩される皆様をおもてなしの心でお迎えいたしたいと存じますので、是非とも市民の皆様のご協力をお願いいたします。

また、今夏、萩反射炉等を含む「明治日本の産業革命遺産九州・山口と関連地域」がユネスコの世界遺産登録に決定することにより、今後ますます萩観光の発展はもとより、これら萩の魅力をお余すことなく発信できるものと期待されます。

現在、議会活動においては、議会改革の一環として、議会の構成（議員定数等）・運営（効率化等）に関する分科会を設置し、目下スピード感をもって熱のこもった協議を進めています。年頭にあたり私ども議決機関としても、今後とも内外の情勢を見据え、より豊かで住みよい萩市を目指すとともに、市民の皆様への負託とご期待に応えられますよう決意を新たにいたしております。

議会に對しまして、本年も相変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶といたします。





市政を問う 一般質問

12月8日から10日まで17人の議員が質問を行いました
各議員が行った質問と答弁の一部を掲載します

一般質問のルール

- ・ 発言時間：答弁を含め60分以内
- ・ 発言順序：提出期限までに文書で通告を行い、抽選で決める
- ・ 年4回開かれる定例会で行われ、毎回行うことができます

《その他の質問項目》
・ 高齢者の投票支援について



「地域猫活動」の推進を

【問】飼いのいない猫に対し「餌やり」の苦情が増加しています。飼いのいない猫に餌をやる事で地域に定着し、田畑荒らしや、糞尿の被害で住民同士のトラブルが発生しています。それらを減少させる方法として「地域猫活動」があります。市民・飼い主・地域・行政機関がそれぞれの役割のもと、協働して飼いのいない猫への対応を、地域の問題として取り組めば、猫の殺処分への減少にも繋がります。「地域猫活動」の推進について市長のお考えをお聞かせください。

【答】飼いのいない猫への餌やりや糞尿被害等の苦情は、訪問指導や啓蒙・啓発活動により平成23年度をピークに減少傾向にあります。猫は繁殖力が強く、餌やりは個体数を増やし周辺に大きな影響を与えます。「地域猫活動」については、地域の理解と協力が得られるか、飼育管理者が明確に出来るか、餌や糞尿管理、不妊・去勢手術の費用負担等について地域住民の合意形成が大きな課題です。他の自治体の例を参考に勉強していきたいと思えます。



佐々木 公恵
(公明党)

「地域猫活動」の推進について

《その他の質問項目》
・ 防災体制について（土砂災害警戒区域等）



校訓「孝」の石碑

【答】農業振興を図るにはまず教育からであり、生徒数が減少しても特色ある学校として学びの場を確保すべきだと思います。今後も県に対して要望していきます。県立高校普通科の通学区域の撤廃による影響については、志願倍率等を考慮すると、中学生の進路選択の変動による市内の高校への影響は少ないと考えています。なお、25年度は卒業生の25%に当たる105人が市外の高校に進学している状況です。

【問】県教育委員会から本年9月に奈古高校再編整備計画（案）が発表され、平成28年度に萩高校の分校を設置し、30年度には廃止することです。ただし、地域の要望に配慮し総合学科を設置し、選択で農業に関する教育が受けられるとのことですが、萩市の第一次産業は基幹産業でもあり、それを担う教育機関が縮小されることをどのように思われますか。また、県立高校普通科の通学区域撤廃に伴う市内高校への影響や市外の高校への進学状況についてお尋ねします。



松浦 俊生
(無所属)

県立高校の再編整備計画等について



恵美須ヶ鼻造船所跡地の建物取得における疑問点

諸岡 皓二
(無所属)

【問】世界遺産暫定一覧表の一資産である恵美須ヶ鼻造船所跡地にあつた建物購入について、市民の方々から疑問視する声が多くあります。問題は、平成21年、22年に国の史跡指定を目指し発掘調査をした場所に、市が新築工事を認めたことです。

また、新築された方に国指定史跡になれば、取り壊すことになるという説明・指導することをなぜ怠つたのか疑問が残ります。

この建物は、23年に完成しましたが、当該場所が25年に国の指定史跡となつたことから市が購入し、26年に解体されました。

市が建物購入に支出した金額2540万円は、無駄な支出ではありませんか。

【答】恵美須ヶ鼻造船所跡は、27年夏の世界遺産登録を目指して、登録条件の国の史跡指定を得るために、21年、22年に発掘調査を行いました。指定の決め手となる遺構は確認できませんでした。

しかし、24年夏、3回目の発掘調査により、ドックの遺構が確認され、文献等資料調査を経て、25年10月に国指定史跡に指定されました。

23年に新築された建物は、遺構が発掘される以前に建築されたもので、手続き上問題はありませ

《その他の質問項目》

- ・観光、環境行政について
- ・ストップ少子化地方元気戦略について



市における一次産業の担い手対策について

森田 哲弘
(過疎問題を考える会)

【問】今年の米価は、昨年より一俵3000円近く安くなり、市の稲作農家は大変生活が苦しくなりま

す。この状態では農業の担い手がいなくなると考えられます。また、農業に従事されている方は70歳以上の方々が、今後「農地はあるが農業をする人がいない」ということとなります。農業従事者と就農希望者が必死の努力を始めなくてはなりません。そこで、農業と障がい者福祉施設の連携を提案させていただきます。

市も一次産業の担い手対策に力を注いでいただき役所の中に特別な部所「一次産業担い手対策本部」を設置され、担い手対策を本格的に取り組みませんか。

【答】市では、国・県補助による新規就農者総合支援事業、市独自のふるさと萩回帰応援事業により、六十人の担い手を確保しましたがまだまだ不足しています。農業と障がい者福祉施設の連携は、福祉的就労支援事業として、国・県・市の助成を受け事業が展開されま

す。このような新しい雇用形態により耕作放棄地の活用なども可能と思われま

す。今後農業振興に繋がる担い手確保を重点施策として取り組んでいきます。

《その他の質問項目》

- ・萩市東部災害の復旧工事について



農 福 連 携



野生鳥獣の被害防止対策について

守 永 忠 世
(無所属)

【問】萩市では、鳥獣被害対策として、有害鳥獣捕獲に対し、国の交付金に合わせて、市独自の奨励補助金を支出するなど積極的な対策を行っています。今後、狩猟者に対して、狩猟捕獲額の値上げ及び、射殺後の死骸の処理等、手厚い支援を行うことで狩猟者の担い手確保につとめ、住民の皆様、特に農家の皆様へ安心を提供することは、行政の責任だと思

います。今後、免許取得・免許更新等の費用補助と、サル捕獲後の火葬処理を行うことについて市長の見をお尋ねします。

【答】有害鳥獣捕獲時の補助金は、被害が甚大な際は単価を引き上げて積極的な捕獲を奨励しています。とりわけサル捕獲については、猟友会と委託契約を締結しており、出動手当や捕獲個体の処理経費を含む活動費を支援しています。新規狩猟免許取得者に対しその経費の一部を補助するなど、捕獲の担い手確保対策も実施しています。また、山口県が実施する改良型サル接近警戒システムも、萩市で実証試験を行うなど先進的な事業に取り組んでいます。

《その他の質問項目》

- ・土砂災害対策について



捕獲されたサル



**生涯現役
社会活動参加**

石飛 孝道
(新志政和会)

【問】今、日本の高齢者人口は、総務省統計局によりますと、平成26年9月15日現在推計で3296万人で過去最多になっています。この様に高齢化率が加速する中、萩市において高齢者の方々が住み慣れた地域で尊厳ある、その人らしい生活を継続し、日常生活を生きいきと過ごされる為に、長年培ってきた豊富な経験と技術を生かし生涯を通して積極的に社会活動に参加することによって、心身ともに健康で充実した人生を過ごすことができるのではないのでしょうか。そこで、高齢者の方々が進んで社会活動に参加できるように、これからの生涯現役社会づくり支援について、萩市の取り組みをお尋ねします。

【答】市では、住み慣れた地域でいつまでも健康で安心して暮らせる「健康長寿のまちづくり」を推進しています。社会福祉協議会と連携した地域サロン、小地域活動の推進など、健康寿命の延伸を図るため「健康づくり応援隊」を養成し、健康体操の普及やウォーキングマップを作成しました。また、老人クラブへの補助、NPO法人、ボランティア活動等各地域の社会資源への支援を行っています。高齢者が多方面で役割を担えるよう環境整備に努めます。



料理教室に参加



新萩市将来展望作成の進捗状況・地方創生の影響は

斉藤 眞治
(新生会)

【問】6月定例会で、新萩市将来展望作成のキーワードを「人口減少先進地からの発信とされては」と質問しました。また、まち・ひと・しごと創生法（地方創生法）が成立いたしました。そこで次の内容について、見解をお尋ねします。

(1) 新将来展望作成の進捗状況は、どのようになっていますか。

(2) 私の提案型のまちづくり施策が、反映されていますか。

(3) 成立した地方創生法は、理念法であり具体的な戦略は示されていません。では、この法がまちづくりの基本方針（新将来展望）に、どの程度波及しますか、またさせようと考えていますか。

(4) 新将来展望案、それに連結する中・長期のまちづくりの具体的な計画は、いつ頃私共に示されますか。

【答】人口減少への対応などを目的とする「地方創生関連法」が成立し、地方版総合戦略の作成が市の努力義務とされました。従来型の将来展望は、この地方版総合戦略に替えていこうと考えていますが、具体的な内容が示されていないことから、未着手となっています。ご提案につきましては、今後、地方版総合戦略を作成していく中で、やるべきことは反映しますが、難しいものがあるかもしれません。素案ができたら報告させていただきます。

《その他の質問項目》

・山陰道（益田・萩間）優先区間絞り込み調査への対応について



世界遺産登録は実現しますか

大村 越夫
(無所属)

【問】世界遺産登録がいよいよ指呼の間になつてきました。ここきて街では意味深長なことがさざやかれていきます。「世界遺産といえば、大きいものと思う。大板山たたら遺跡を見て、遺跡はどこにあるかと尋ねたら、それは、あなたの足元よ。」といわれて唾然とした。というようなが満座の中で語られています。10月21日、山口県世界遺産シンポジウムin萩が市民館で開催されました。この中で、コーディネーターの加藤康子氏は述懐して「このプロジェクトは何度もダメになるのではないかと思つた。」と述べ、内閣官房参与の木曾功氏は「シリアルノミネーションを審査員に理解してもらおうのが中々たいへん」と述べられた。シリアルノミネーションとは何ですか。

【答】十年前にユネスコ本部を訪れたときに、当時の松浦事務局長が「これからの主流はシリアルノミネーションだ」と言われました。シリアルノミネーションとは、関連性のある資産を一つのテーマのもとにまとめて登録することです。明治日本の産業革命遺産は、19世紀末に非西洋で初めて近代化に成功したことを証明する23の資産で構成されており、日本で初めての本格的なシリアルノミネーションによる登録を目指しています。

《その他の質問項目》

・地方創生の具体的な内容について何かつかんできますか



地域の社会福祉の相談窓口をなくさないように

佐々木 武夫
(公明党)

【問】地域運営協議会で、各支所にある6つの事務所を3つにするという案が協議されています。「須佐老人憩いの家」は、萩市の建物で、地元住民が使用するのに、今後のあり方に対する心配の声や、相談窓口がなくなるのではないかと不安が広がっています。地域の社会福祉は社協が担っていますが、行政と一体となった包括支援の取り組みも必要です。住民の利便性を損なわないように、十分な財政・人材の支援ができませんでしょうか。

【答】社会福祉協議会の地域運営協議会では、財政状況の悪化から各地域にある事務所の統合が議論されていますが、決定事項ではありません。昨年の災害ボランティアセンターの運営や高齢者福祉などいろいろな意味で社会福祉協議会には活躍をいただいております。市としても組織のあり方や問題について非常に関心もっています。今後、総合事務所のあり方についても議論を始めることから、一体運用ができるよう、十分な協議を行なっていきます。

- 《その他の質問項目》
- ・地域創生、地域づくりへの萩市の取り組みについて
 - ・再生可能エネルギー活用に向けての取り組みについて



須佐老人憩いの家



安倍首相の農業所得倍増について

美原 喜大
(新友会)

【問】平成25年7月28日の大水害を受けた地区では、2年連続で経営に大きな痛手を受けています。災害により耕作面積が減ったこと、個別所得補償が半減になったこと、米の単価が激減したこと、8月の長雨により収量が2〜4割も減ったこと及び、それらの事項が重なったこと等々大きな影響があり、経営は赤字となっています。

第2次安倍内閣では、農業所得倍増計画が発表されています。その計画のひとつとして、農林水産省と経済産業省が行う研修会では6次産業化への取り組みが頻りに紹介されています。市において、その取り組みを行っている法人等の現状と6次産業化への取り組みについて、今後の対応をお尋ねします。

【答】萩市における「6次産業化・地産地消法」に基づく総合化事業計画認定団体として、農業関係ではワインの開発・販売が認定されています。今年10月には、地域産米を原料とした新商品開発や販売、さらに新しい農業の形態として障がい者と農業の連携による計画が認定されました。高齢化の中、農業経営の事業転換は非常に困難ではありますが、若い力の導入による6次産業化など、新しい農業に取り組まれる場合は国・県と連携して支援していきます。

- 《その他の質問項目》
- ・地域(まち・ひと・しごと)創生について
 - ・災害復旧について



高齢者への福祉タクシー利用券の交付について

五十嵐 仁美
(日本共産党)

【問】現在、一定の対象者に、福祉タクシー利用券やリフト付タクシー利用券が交付されていますが、利用者の数を地域別に教えてください。次に、合併前の田万川町では、福祉タクシー利用の対象者が幅広く拡大されていたようですが、そのサービスの状況を教えてください。高齢化が加速的に進む萩市では、福祉タクシー利用者以外で、多額のバス代やタクシー代を負担して通院されている方が増えています。そういう方まで拡大して、福祉タクシーが利用できるようになりますか。

【答】障がい者福祉タクシー利用者は萩378・三見13・大井17・川上3・田万川22・むつみ2・須佐30・旭6・福栄8です。リフト付タクシー利用者は萩52・三見1・大井3・川上2・田万川1・須佐5・福栄3です。旧田万川町では70〜74歳にバス無料券36枚、75歳以上と身体障がい者1〜3級、療育手帳等所持者に支援車無料券36枚を支給していました。高齢者の交通手段は、路線バスやぐるっとバスを含め今後見直しを検討します。



障害手帳と福祉タクシー券

- 《その他の質問項目》
- ・中山間地域となる周辺部の活性化について
 - ・教育委員会改革・条例改正について



西中 忍
(過疎問題を考える会)

今後の循環まあるバス
の運行は

【問】まあるバスは、市民病院への通院手段の確保など、市民の利便性向上を目的に運行が始まり、これまで何度か運行ルートやバス停の位置などを変更しながら、現在に至っています。また、来年からは、ザ・ビックエクストラ萩店へ乗り入れると聞いています。

しかし、これまでの変更で「不便になった」という声があるように、少しずつ市民のニーズとブレが生じているのではないかと思います。

また、ザ・ビックエクストラ萩店の駐車場内での事故や混雑による遅れも心配です。そこで、運行ルート等を変更する基準とザ・ビックエクストラ萩店での安全性やスムーズな運行をどう確保するのかお尋ねします。

【答】運行ルートの変更については、新たな道路や施設が整備された時に検討を行っています。現行コースを基本とし、1周1時間、2ルートの範囲内で可能な限り利用者の利便性が図られるよう実施しています。ザ・ビッグエクストラ萩店には、入口の拡幅工事、バス停留所付近を一般車両駐車禁止にするなどの安全対策、また混雑時の誘導員配置などについて対応いただくことになっていきます。事故の未然防止やスムーズな運行に努めていきます。

《その他の質問項目》

・平成27年度当初予算における人口減少問題の対策について



波多野 勝
(新友会)

外国人観光客の
受け入れ促進について

【問】今年の10月から来日した外国人観光客向けの消費税の免税制度が、大幅に拡大されました。具体的には、これまでの家電製品や衣類に加え、食料品や酒、化粧品などの消耗品類も対象になり、日本国内で購入するほぼすべての商品が免税になりました。円安の追い風に免税措置、さらに萩市は大河ドラマの影響もあり、萩市を訪れる外国人観光客は増えると思います。

これを踏まえて、萩市においても、民間と行政が一体となって、外国人観光客を受け入れるためにも、緊密に連携していくための、新たな組織づくりをすべきと考えます。

萩市を訪れる外国人観光客に対する取り組みをお尋ねします。

【答】国では海外からの観光客の受け入れを整備しようとの大方針を掲げています。また、最近の為替レートが円安であることから、今は、外国人観光客を受け入れる絶好の機会だといえます。県においても、外国人観光客の倍増に向けて国際観光の推進に重点的に取り組むとしています。こうした状況の中、萩市でも外国客船の誘致強化を図る必要があると思っています。

また、公衆無線LAN等の情報通信環境の整備に努めていきます。

《その他の質問項目》

・空き家の解体、撤去の促進について



椋 晶雄
(過疎問題を考える会)

社会教育の
充実について

【問】社会教育は、幼児から高齢者までの広い年代にわたって学ぶ機会として大切なものです。市内各地域の特色ある歴史と文化・スポーツの振興に貢献し、地域の活性化につながっています。その社会教育を担っているのが公民館です。

公民館活動が活発な地域は、余暇活動や子ども達の課外学習などが盛んで、高齢者の生きがいづくりにも貢献しており、健康長寿にもつながっています。その公民館の職員が全体の職員配置計画のなかで減少しているのが実情です。

そこで充実した公民館活動が行われるよう職員配置計画のなかで、社会教育が充実するような体制にする必要があると思いますが、市長の所見をお尋ねします。

【答】萩地域では、生涯学習のあり方が多様化し、各団体の様々な活動が展開されています。例えば、萩博物館ではNPO法人の会員200人の方々が多様な知識と経験を生かし、行政と協働して博物館を運営しておられます。人口減少、超高齢化社会が進展する中で、今後は市職員数も減少します。

公民館の機能を維持・向上させるために地域の皆さんと行政の協働という方法がとれないか考えていきます。

《その他の質問項目》

・福祉行政の一翼を担う社会福祉協議会の周辺地域拠点の統合について



中野伸
(新生会)

むつみ診療所の今後について

【問】兵庫県養父市では「やぶ医者」の語源が「養父市にいた名医」であったことにちなみ、市の知名度を高める事業として「やぶ医者大賞」を創設しました。その「第一回やぶ医者大賞」を、むつみ診療所の前川恭子先生が受賞されました。

現在、市では小中学校の耐震化を最優先に取り組まれていることは承知していますが、むつみ診療所はどうでしょうか。

早期に移築・建て直しなどの政治的判断が必要と思いますが、ご所見を伺います。

【答】むつみ診療所の整備については「隣接地に築移転する」「現在の施設を改修して延命化を図る」「むつみ総合事務所を改修して機能を移転する」という3つの手法で検討しています。

学校の耐震化が終了する平成28年度以降、なるべく早い時期に結論を出したいと思っています。

《その他の質問項目》

- ・ 地域活性化
- ・ 観光行政



むつみ診療所



宮内 欣二
(日本共産党)

名誉棄損による損害賠償請求裁判の高裁判決をどうみるか

【問】大島漁港整備工事に関する損害賠償請求裁判は、広島高裁で8月29日に控訴審判決が出されました。その事実認定では「①告発したB氏の供述内容は信用できる。②B氏とEースプラント社長の会話録音内容は、B氏の供述を裏付ける。③新生商事が取引に介入している事実もB氏の供述を裏付ける。④A議員が、わざわざ下松市まで行き、社長と一般的な挨拶をし、封筒に入った会社概要を持ち帰ったとすることは、極めて不自然・不合理である。B氏の供述するように、500万円の授受があったとの可能性は否定できない。」と明確に述べています。

市長はこの判決をどうみますか。再調査が必要だと思いますか。

【答】当該訴訟については、現在、最高裁判所に上告されていますのでコメントは差し控えたいと思います。



大島漁港

《その他の質問項目》

- ・ 人口減少問題と中山間地域の振興策について
- ・ 稲作農家の危機にどのように対応するか
- ・ 介護保険制度の改正による萩市の対応をどのように進めるか
- ・ 災害復旧について



関 伸久
(過疎問題を考える会)

観光イヤーの幕開けストレスのない観光行政を

【問】NHK大河ドラマ「花燃ゆ」が始まります。そして6月には世界遺産の登録が迫ります。多くの観光客が来萩されることが予想されるなか、観光客、市民にストレスのかからない観光行政が求められます。ついては次の点について対応方針をお伺いします。

①松陰神社付近の駐車場の収容台数が絶対的に不足しています。交通の要衝でもあり、交通対策、駐車場対策を求めます。やはりシャトルバスが必要ではないですか。②萩市へのアクセスをどう正しく周知しますか。③観光エリア隣接の駐車場は時間制限を設けるべきではないですか。収容台数が少ないので、いかに回転させるかがポイントです。④萩美術館前の信号機を時差式にし、スムーズな交通を実現しませんか。⑤ホテル等の労働力が不足しています。対策はどうしますか。

【答】①連休等の状況を見ながら椿東小学校グラウンドや陶芸の村公園等の活用を検討します。②観光総点検の一環として標記の統一に取り組むほか、正しいアクセス標記をJR等にも要望しています。③3月の状況を見て、隣接する駐車場への車の誘導等について対応を考えていきます。④信号機(右折)を時差式にすることについて、現在、公安委員会に要望しています。⑤従業員の確保に必要な勤務条件の整備を企業にお願いしていきます。

平成26年度12月補正予算(第4号)の概要

(単位：千円)

	補正前の予算額	補正予算額	補正後の予算額
第4号	3,694,551	536,851	37,441,402

歳出予算の主なもの

(単位：千円)

費目	事業名	補正額
【各費目】	◎職員人件費 職員の退職手当・人事院勧告に伴う人件費を調整します。	295,830
【議会費】	◎議会運営事業 人事院勧告による勤勉・期末手当を調整します。	1,283
【一般管理費】	◎災害派遣職員受入事業 他市からの災害派遣にかかる負担金を、人数が確定したので、減額します。	△3,3060
	◎職員退職手当基金管理事業 職員の大量退職に伴う退職手当基金積立金の調整をします。	△304,468
【財産管理費】	◎財政調整基金管理事業 地方財政法の規定により、平成24・25年度の純繰越金の $\frac{1}{2}$ を積立てます。	535,644
【情報政策費】	◎社会保障・税番号制度電算システム整備事業 社会保障・税番号制度（マイナンバー制度）の導入による電算システム使用のための負担額を計上します。	981
【農業委員会費】	◎＜新規＞農地台帳電算システム改修事業 農地法の改正に伴う農地情報の公表ための農地台帳システムを改修します。 (公表は所在・地番・地目・地積等)	1,290
【農地費】	◎＜新規＞上ノ原揚水ポンプ取替事業 田万川上ノ原地区の揚水ポンプ2台のうち1台が故障したので、補修を行うものです。	1,260
【商工業振興施設費】	◎＜新規＞電気自動車用普通充電器設置事業 新設された旧明倫小学校の駐車場に電気自動車用の普通充電器を一般社団法人及び自動車メーカー4社の助成金を活用して設置します。	1,782
【観光振興費】	◎＜新規＞直行バス（萩～新山口駅間）運行補助事業 NHK大河ドラマ「花燃ゆ」の放送開始に伴い、観光客の増加が見込まれ来萩者の利便性の向上及び集客を図るため、次のバスを運行します。 ○直行バス（萩～新山口駅間）…JR新山口駅から大河ドラマ館までの区間について、中国自動車道及び小郡萩道路を經由したバス運行事業を支援するための補助金です。 ○定期観光バス（萩市内）…大河ドラマ館を発着する市内観光定期バス運行事業を支援するための補助金です。	6,235 1,128
【公民館費】	◎＜新規＞小川コミュニティセンター太陽光発電設備等整備事業 小川コミュニティセンターの新築に災害時の避難所となることから、太陽光発電システム及び蓄電池等を整備するものです。	31,000

総務委員会

直行バス（萩～新山口駅間）運行開始 ～片道約60分を実現～

問 直行バス（萩～新山口駅間）運行補助事業について

答 この補助事業の期間は27年1月11日～28年1月10日を予定しており、今回は26年度の予算措置です。次年度は約1605万円を予定しています。予算措置は行うものの、直行バスの採算ラインを大人8名としており、平均してこれを超える搭乗者がいれば、原則補

助金は発生しません。

問 補助金の使途は、この

答 運行補助のみですか。

答 運行補助以外にも直行バスのラッピング経費等が含まれます。

・定期観光バス（萩市内）運行補助事業について

問 この事業の概要を教えてください。

答 この事業の概要を教えてください。

問 運行期間を27年3月21日～28年1月10日までとし、前日までの予約制で運行を行います。土日、祝日及び春夏休みに限り予約なしで乗車ができます。所要時間は約2時間30分で運賃は大人2500円、小児は半額で乗車できます。

問 この定期観光バスはガイド付と聞いていますが、ガイド料金は運賃に含まれますか。

答 運賃には含まれません。今回の補助事業（今年度約112万円、次年度約850万円を予定）でガイド料金を負担するものです。

問 「まああるバス」と「定期観光バス」の料金と運行ルートの整合性をどう考えていますか。

答 今回の「定期観光バス」は「まああるバス」と異なりガイド付であり、ここが大きな相違点です。ルートは一部重複するところもありますが、「定期観光バス」は大河ドラマや世界遺産ゆかりの地を中心に運行しますので、観光に特化したものになります。

問 1日1便の運行予定と聞いていますが、出発の時間帯はいつですか。

答 今のところ、午前中を考えています。

問 時期により予約が多い場合は、増便を検討しませんか。

答 状況に応じて、判断・検討します。

問 大河ドラマ館が唯一の発着拠点ですが、それ以外の拠点、例えば市内の主要なJR駅での発着対応はできませんか。

答 今のところ予定はしていません。大河ドラマ館が唯一の発着拠点になります。

・電気自動車用普通充電器設置事業

問 旧明倫小学校に整備された駐車場に電気自動車用の普通充電器を設置するものですが、設置の財源とラッシングコスト、メンテナンスの負担の所在はどこですか。

答 今回の事業は、国の補助金を取り扱う一般社団法人及び自動車メーカー4社による助成金を活用して行います。ラッシングコスト、メンテナンスの負担もこの助成金を活用するものです。

問 地元企業も普通充電器を開発しています。これを利用してはどうですか。

答 今後、市内の他の箇所での導入を検討します。

問 普通充電器の設置を今後も推進してください。

答 萩市では、23年度予算から電気自動車の導入やその環境整備に取り組んでいます。県内の自治体の中でも早期に取り組んでおり、ご理解を頂きたいと思えます。

○平成26年度萩市一般会計補正予算（第4号）について

○平成26年度一般会計補正予算（第4号）を含む議案6件が付託され、審査の結果、すべて承認・可決すべきものと決しました。審査の主な内容は次の通りです。



ラッピングバス（イメージ図）

常任委員会の審査の概要をお知らせします

経済建設委員会

教育民生委員会

工業用地を無償貸し付け ～新工場建設でさらなる雇用を～

手話言語条例制定

○平成26年度萩市簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)について

人事異動や人事院勧告などに伴う職員人件費の調整及び本年8月6日、須佐地域の水道管漏水事故に伴い発生した、車両事故に係る必要経費の補正を行うものです。車両事故に関して以下の質疑が交わされました。

問 経済建設委員会には、議案10件が付託され、審査の結果、すべて可決すべきものと決しました。審査の主な内容は次の通りです。

問 事故当日の対応状況と今後の防止策はどうなっていますか。

答 道路は、表面上陥没が確認できなかったことから、漏水対応として、バルブ操作、給水準備、住民周知等複数の職員で対応しました。委員からは、今回の事故をふまえ、再発防止のため、安全管理を徹底するようにとの意見がありました。

○財産の無償貸付について

萩市が誘致したトーフレ株式会社に、工場用地として平成40年7月15日までの間、新たに無償で土地の貸し付けを行うものです。審査では地元雇用の創出等についての質疑が交わされました。

問 地元雇用の状況はどのようなになっていますか。

答 同社は、創業当時から地元雇用に積極的に進めています。具体的には、平成27年度市内高校より5人の



トーフレ株式会社の新工場

採用が決っています。28年度以降も積極的に採用する計画です。

○財産の取得について

これは、国指定史跡の恵美須ヶ鼻造船所跡地にある建物を、史跡保存整備のため、買い入れるものです。

問 買い入れ価格は、どのように決定されたのですか。

答 事前に家屋調査を行ったうえで、国が定める公共用地取得に伴う補償基準に基づき算出しました。

問 買い入れた建物は、どうなりますか。

答 建物等は、解体・撤去したのち、調査・保存を行います。

○萩市手話言語条例について

この条例は、手話が言語である事を認識し、手話を用いて語る者が、安心して暮らすことができるまちづくりの推進を目的としています。

問 音声言語に比べ、手話ほどの位細やかに表現できますか。

答 手話は形を手で作る表現

教育民生委員会には、平成26年度補正予算に係る6議案、条例制定、条例改正など4議案が付託され審査の結果、すべて可決すべきものと決しました。審査の主な内容は次の通りです。

問 手話の表現が人により異なることがありますか、どうしてでしょうか。

答 全国統一手話がありますが、手話にも方言の様なものがあり少し、異なることもあります。高齢者や地元の人に解りやすい手話に努めています。

問 今後の取り組みはどうされますか。

答 市民には、手話講習会の充実を図ると共に、市職員には手話研修を行う予定です。

問 現在の、手話言語を必要とする人は何人いますか。

答 61人です。

問 手話通訳ができる人は何人いますか。

答 市の登録者は24人です。

○萩市地域包括支援センターの職員及び運営に関する基準を定める条例について

この条例は、法に基づき地域包括支援センターの職員及び運営に関する基準を定めるものです。

問 高齢化に伴い職員の定員を増やすべきではないでしょうか。

答 また、実態に応じた補充をしていますか。

答 基準を下回らないようにしています。補充人員として保健師を増員しています。

○休日急患診療事業特別会計予算について

今回の補正は、人事異動や人事院勧告などに伴う職員人件費の調整を行うものです。

問 時間外勤務は一人どのくらいありますか。

答 事務職は1か月約10時間ありますが、看護師はありません。市内診療所医師の診察は、時間外勤務手当として計上しています。

すが、人事と相談して行っています。

察 報 告

総務委員会

平成26年10月22日～24日

《視察先・調査事項》

①三重県伊勢市

○観光事業の取り組みと課題について

(御遷宮における観光課題)

三重県伊勢市は昨年、伊勢神宮の遷宮年にあたり、国内外から過去最高の1420万人の観光客が訪れています。

今年、萩市も大河ドラマ・世界遺産登録と、多くの観光客の来訪が予想されることから、伊勢市での交通渋滞対策、おもてなし向上等の取り組みを調査したものです。

○伊勢河崎のまちづくりについて

②岐阜県高山市

○特定非営利活動法人「まちづくりスポット」について

岐阜県高山市は、大和ハウスグループの民間資金を活かした「まちづくりスポット」事業と国際観光の取り組みを視察しました。

行政だけでは予算に限りがあり、今後は「まちづくりスポット」の様に民間資金を活用した取り組みも求められます。

○国際観光の取り組みについて

③滋賀県守山市

○再生エネルギーの取り組みについて

滋賀県守山市では、生前贈与の非課税枠を活用した「もりやま市民ソーラーファンド」の取り組みを調査しました。



高山市・町並保存区域の視察



伊勢市・観光事業について

経済建設委員会

平成26年10月22日～24日

《視察先・調査事項》

富山県滑川市と新潟県糸魚川市を訪問し、滑川市ではまちなか再生事業について、糸魚川市では萩市が登録を目指しているジオパークへの取り組みについて視察を行いました。

○まちなか再生事業 (富山県滑川市)

限定したエリア(まちなか)を設定し、そこに住む人を増やすことで、市街地の賑わいと良好な住環境づくりを図る事を目的として事業が行われています。

・まちなか住宅取得支援事業

・まちなかの定住人口の増加が目的

・市街地空き地空き家活用支援事業

・賑わいの創出と地域商業の振興が目的

・危険老朽空き家対策事業

・防災・防犯の観点から、居住環境の向上を図ることが目的

この事業は、平成20年度から取り組みを始め、26年度から期間を延長して28年度まで取り組む事になっています。

○ジオパークの取り組みについて

(新潟県糸魚川市)

糸魚川市は、ジオパークの考え方を先取りし、昭和62年から「フォッサマグナと地域開発構想」を策定し、フォッサマグナを軸に芸術・文化・観光を結び付けるまちづくりを目指し、施設整備等を行っています。

視 政 行

教育民生委員会

平成26年10月22日～24日

《視察先・調査事項》

① 奈良県奈良市

○ 地域で決める学校予算について

地域で決める学校予算事業を地域教育推進事業として位置づけ、地域や学校の実態に応じた取り組みについて、地域の支援、協力を得るとともに、地域と学校が連携、協働した事業を推進していると説明がありました。萩市におきましても、少子化が進む萩市においても市全体で子供を育てる体制づくりの一環として、教育活動の充実強化がこれから求められます。

② 愛知県東海市

○ 未婚者支援対策について

未婚者支援推進事業を継続するためには、雇用対策の整備をはじめ、地域コミュニティの活性化、育児環境の整備など総合的な取り組みが必要だと説明がありました。萩市においても少子化の要因の一つである、非婚化・晩婚化を改善するための取り組みが求められます。

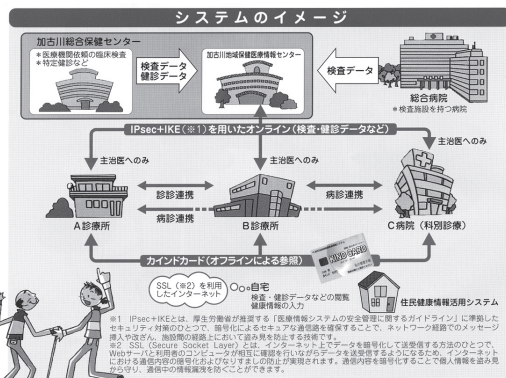
③ 兵庫県加古川市

○ 加古川地域住民健康情報活用事業について

「加古川地域保健医療情報システム」は、健康診断の結果や医療機関での診療情報、検査結果など自宅のパソコンで閲覧でき、容易にチェックできるシステムと説明がありました。萩市においても、健康長寿を目指すため更なる取り組みが求められます。



奈良市・地域で決める学校予算について



加古川地域・保健医療情報システム



ジオパーク案内板

※ジオパークとは

・直訳するとジオ(地質)パーク(公園)です。地質だけではなく地質や地形に関連する歴史や文化が大切で、ジオパークを活用した学習や住民活動が重要だとのことでした。

※地元の取り組み

- ・24種類のジオ井を市内の飲食店で提供。
- ・ジオパークを学ぶため0歳～18歳まで一貫した教育「ジオ学」を実践。

また、小学校の副読本で、ジオパークについて学習。

- ・「ジオ給食」を毎月1回、幼保・小中が一斉に実施。

※ジオパークの効果

・大河ドラマのような一過性の効果はないが、2億5000万円程度の経済効果で、拠点施設の「フォッサマグナミュージアム」の入館者は、世界ジオ認定後、年間6万人程度で推移しているとのことでした。

議会の構成・運営に関する研究会

○議会構成分科会

議会構成分科会では、これまで8回の会議を行い、議員定数について、さまざまな角度から議論を行いました。

議員定数に関する分科会での主な意見は、次の通りです。

(議員定数削減)

・議員定数の基準は人口なので、人口減少が続く萩市では削減すべき。

・議員は地域の代表ではなく、萩市全体の利益を優先すべきなので、コンパクトに運営すべき。

(議員定数現状維持)

・萩市は、離島や中山間地域を抱えているので、市民の意見を広く聞くことや災害時・緊急時の対応が難しくなる。

・市民の多様なニーズや意思を反映させるため、また、チェック機能の低下になってはいけない。

(議員定数増員)

・議員活動を市民に対し示すことが必要で、議員活動が活性化できれば定数を削減する必要はない。

また、定数を増やしても、個人の議員報酬を削減して報酬の総額は変えないというやり方もある。

○議会運営分科会

議会運営分科会では、平成26年6月より、毎月会議を行い、萩市議会として目指すべき議会運営について、検討を行なっています。

これまでの会議で分科会として、意向集約を行なったものは、次の通りです。

・常任委員会の任期は、これまで通り1年とし、連続して同じ委員会に属することを認める。

また、出来るだけ個人の希望を尊重する。

・正副委員長を除く委員の座席の指定は、本会議場の例ならに倣う。

・政務活動費の収支報告については、萩市議会のホームページに掲載する。

・一般質問については、従来どおりとする。

今後、どうすれば議会活動を市民の皆様に理解していただけるかということについて、議論を進めていきます。

討論

議案第107号 平成26年度萩市一般会計補正予算(第4号)について

平成26年度一般会計補正予算には、昨年の豪雨災害で被災し、現在移転新築整備が行われている小川コミュニティセンターに、太陽光発電設備等を整備する事業や、大河ドラマ館のオープンに伴い増加が見込まれる観光客の利便性向上を目的とした、直行バス運行補助事業・定期観光バス運行補助事業などがあります。

小川コミュニティセンターは、災害時の避難場所になることから、太陽光発電システムや蓄電池等の整備は、有効なものと考えます。

また、大河ドラマ館と新山口駅を60分で結ぶ直行バスの運行は、萩市の観光振興の課題となっている2次交通の強化策になるとともに、定期観光バスの運行は、萩市観光の新たな手段となり、この2つの事業は、増加が見込める観光客に対するおもてなしになることから、重要な事業だと考え、賛成します。

賛成

反対

この補正予算案には、人事院勧告に伴う人件費の調整がありますが、これは当然のことで賛成します。しかし、議会議員の期末手当の引き上げには反対です。議会議員は、職員と違って、非常勤であり、市民と近い存在です。市民の暮らしの状況を考えるなら、議員の期末手当を引き上げる状況にはありません。この引き上げを含む予算に賛成することはできません。

また、電気自動車普通充電器の設置については、市の負担がないということでの方式が採用されていますが、4大メーカーによる顧客の困り込みにつながりかねません。そして、地元にも普通充電器を製作している業者があります。市内で調達できるものは市内で購入することが地元経済の活性化につながります。苦しんでいる地域経済を活性化させ、地域に雇用をつくる上からも、再考すべきことではないでしょうか。



田万川地域

田万川地域生涯学習フェスティバル



川上地域

わら細工講習会



萩地域

萩時代まつり



須佐地域

育英塾



地域のイベント



むつみ地域

むつみ保育園発表会



旭地域

明木小学校校舎お別れ式



福栄地域

シクラメンフェア

議員控室

が立っていることをどの様に思っているのか、叶うことなら聞いてみたい。議員の持つ責務および行動は、一動一言注目されるものであり、ご理解を頂かなくてはなりません。また各々責任を持たなくてはなりません。私は一抹の不安を感じながらも、真摯な態度で、この4年間の議員活動に邁進していきたいと思えます。

小池 太一

武者震い
明けましておめでとうございます。平成27年の初春を健やかに迎えになったこととお慶び申し上げます。昨年の4月に行われました市議会議員選挙で初当選をさせていただきました。早9ヶ月余りがたちました。私事で恐縮ですが登庁するのにスーツか着物か、と物議をかもしました。しかし議会のご理解を頂き着物で登庁する事を許されました。初めての一般質問当日、亡き父の着物を着て壇上に立ったとき、課せられた数々の重圧で感極まり、震えがきたのを今でも覚えています。萩市のためにどの様に努めるのか、市民のためにいかに役立つ事ができるのか、自問自答の毎日です。父も永きに渡り市議会議員を勤めさせていただきましたが、同じ壇上に私

武者震い

編集後記

新年あけましておめでとうございます。新しく迎えた年が、皆様方にとって実り多き年となるよう心より願っています。

萩市にとっても今年のは、NHK大河ドラマの放映とそれに合したドラマ館のオープン、そして、目前となった世界遺産登録など、実り多き年になる予感がしています。

議会だより編集委員会も、市民の皆様に、「読みやすかった」「わかりやすかった」という実りをひとつでも多く頂けるよう、気持ちを取り組んで行きたいと思えます。

- 議会だより編集委員会
委員長 西中 忍
副委員長 佐々木公恵
委員 石飛 孝道
大久 勲
小池 太一
小林 正史
関 伸久
美原 喜大
森田 哲弘